

令和5年度ひばり療護園事業実施報告書

●基本理念

- ① ノーマライゼーション理念のもと、たとえ障害があっても一人の人間としてその人らしく尊厳を持って生きることを支援します。
- ② 利用者からのニーズを把握するとともに、ニーズを満たすためのサービスの充実に努めます。
- ③ 地域福祉向上のために、地域及び地域資源と連携・共働を図り、地域に開かれた施設づくりを推進します。

●運営方針

- ① 利用者・職員の相互信頼関係を保ち、利用者の社会的自立・活動への参加を促す。
- ② 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供する。
- ③ 地域や家族との結びつきを重視し、市町村や他の障害者支援施設、地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携に努める。

1 生活支援

- ① 今年度は『素敵な水曜日 活動/交流の日（主に、自主参加者対象）』の活動内容の見直しを行った。利用者参加型の創作や運動の機会を増やし、職員と利用者だけではなく、利用者同士の関わりも多く持てるようにした。SNS/Instagram（インスタグラム）での施設活動の情報発信は継続し、施設活動発信のみではなく、自分たちの支援、サービスやケアの振り返りにもなっている。
- ② ケアの専門4部会と各通りの4班を紐づけし、副主任とケアリーダーの互いの成長が図られるよう工夫した。各部会の班内での見える化での業務のブラッシュアップ、副主任の部会を含めた取りまとめ、ケアリーダーとの調整、リーダーシップの発揮を期待した。また、各会議で小研修を取り入れリーダーシップの発揮、専門性や介護倫理の向上を図った。
- ③ 課員との面談を実施している。主任と副主任間だけでなく、副主任と班の職員間の面談を2か月に1回実施している。コミュニケーションをとり、不満の聞き出し、目標設定や評価等を行った。コミュニケーションや不満の聞き出しが主となっており、スーパービジョンの不十分さが課題である。ケアリーダーを中心とした研修会を『摂食・口腔ケア』部会で、入職5年未満職員を対象に開催した。また『排泄ケア』部会では、入職3年未満の職員を対象に個々へのフォローアップ研修を実施中である。
- ④ 移乗サポートロボット『Hug』を導入している。ケアリーダーを中心に『移乗ケア』部会で使用対象利用者を選定し、職員へ使用方法を指導し、移乗時の身体的負担

の軽減を図っている。ICT 機器は業者からの説明、デモ機での体験を行ったが、導入には至っていない。

2 看護

① 定期健康診断の実施（年2回）

- ・前期 利用者 令和5年6月27日 おおさわ内科にて
職員 令和5年7月21日 予防医学協会にて
- ・後期 利用者 令和6年2月21日 予防医学協会において
職員 令和6年2月5日～17日 大沢内科にて
（夜勤生活支援員のみ）
- ・今年度から、職員と利用者の健診日を別日に実施した。

② 日常の健康チェック

- ・血圧の薬を内服している利用者は毎朝血圧測定を行い血圧手帳に記入した。通院時に主治医へ報告を行った。
- ・利用者全員のバイタルサイン測定、体重測定を毎月実施し健康チェックを行った。
- ・経管栄養利用者及び体調不良の訴えが出来ない利用者は、毎日バイタルサイン測定を行い、体調不良がないか観察し異常の早期発見に努めた。

③ 集団感染予防（インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウィルス）

- ・インフルエンザ予防接種：令和5年11月16日 利用者対象に実施。
令和5年11月に職員各自がおおさわ内科にて実施。
- ・コロナワクチン接種：
令和5年6月14日 接種希望利用者対象にひばり療護園にて実施。
令和5年10月25日 接種希望利用者対象にひばり療護園にて実施。
- ・手洗い・手指消毒・うがいなど周囲の状況に応じて促す声掛けを行った。
- ・廊下の手指消毒液の補充、在庫確認は衛生委員会へ引き継ぎを行った。

④ 看護師が健康相談や個別指導を行う。（おやつ相談・体重管理など）

- ・看護師が、利用者の担当支援員と情報交換を行いながら、個別的指導や健康維持に努めた。
- ・必要に応じて主治医に報告、相談、指示を仰ぎ、利用者の健康促進、維持に努めることができた。
- ・棟会議に出席することはできなかったが、支援員に対していつでも相談できる環境づくりに努めた。

⑤ 専門性・技術の向上

- ・医療的ケア1号、2号研修へ参加し、指導者研修を習得し実地研修を行っている。

⑥ 訪問診療の充実

- ・うじょう歯科による歯科診療、おおさわ囑託医による回診、処置等速やかに実施できるように医師との連絡を図った。
- ・往診前日、当日には利用者へ口頭での声掛け、または放送を利用して周知することですmoothな対応が出来た。

3 機能訓練

- ① コロナウィルス感染症の施設内クラスター感染により、その間リハビリ室は隔離の為に使用したため休むことがあった。感染者の発生状況に応じて感染予防環境の保全に努めた。通常期間は県内、久慈市広域の感染状況に左右されず一貫した対策を行った。より衛生環境を確保するためリハビリ実施時間を5分短縮し清掃活動にあてた。衛生面の改善については利用者からも好評なため今後も実施する。生活支援員からベッド臥床時のポジショニングについて質問が数件あり対応した。
- ② 今年度はゴミ箱やテレビ台など居室内で利用者が過ごしやすい物や、職員駐車場のタイヤ止めを作製した。木材もテラス、ベニヤ板の廃材を有効活用した。作業者は黙々と作業をこなし、体力の維持に繋がっている。
- ③ 卓球バレーの感染予防対策として常時換気、手指消毒、マスク装着、用具の清掃を頻繁に行い衛生環境維持に努めた。大会に参加できないため、技術面での向上はできていない。今年度は新規入所者が積極的に参加している。
- ④ 年2回の補装具巡回相談に同行し車椅子、装具の作製時の説明・サポートに携わった。また相談会参加中も感染対策を最優先に行動し、感染予防に努めた。車椅子・装具業者は新型コロナウイルスの感染状況を考慮しての修理依頼とした。休みの間は作業療法士が点検し簡易的な応急処置も実施。業者には随時連絡し修理部品の申請は迅速に対応できた。利用者の身体状況から車椅子が必要な方でも身障手帳の内容変更ができないため車椅子を作製できず、施設備品の車椅子を使用している方が増加している。

4 給食

- ① 利用者の体調や咀嚼嚥下状況などの身体状況に応じた主食形態の変更を行った。利用者の毎月の体重測定結果より、定期的に体重の増減の報告を行い、多職種と情報共有を図り、身体変化に早期対応するよう努めた。
- ② 研修参加については外部研修への派遣はなかったが、内部研修への積極的な参加により、他部署職員との意見交換や日頃の業務への意欲向上へ繋げることができた。
- ③ 季節を感じられるような旬の食材については、行事食等で旬の山菜や野菜、果物等を取り入れた。お花見会には天ぷら、刺身を入れた手作り弁当、夏場は冷やし麺のメニュー、ご家族を招待しての焼肉、秋は秋の食材を使い手作り弁当を提供した。また、秋に3回に分けて計画していたバーベキューはコロナ感染により中止となっ

たため、11月に代替行事として、屋外にてさんまやほたてなどの海鮮を焼いて提供した。クリスマス会には厨房での手作り弁当を提供し、家族と共に雰囲気を楽しんでいただいた。1月にはもちつき会でおもちを、2月には節分に恵方巻、3月はひな祭りにちらし寿司を提供した。

- ④ 利用者の希望するメニューや好まれるメニュー（麺類、丼物、味付けごはん、おにぎり、汁物等）の提供を増やし、できるだけ残食を減らす工夫をした。
- ⑤ 今年度は季節の行事食の実施の他にレストランの日2回、寿司の日2回、焼肉の日を1回、炭火焼の日を1回実施した。
- ⑥ 利用者の誕生日メニューとして、希望するメニューを1人1品提供した。

5 地域支援

- ① コロナウィルスの影響により規模を縮小し夏祭りを実施した。来年度はコロナ以前の規模に戻して地域の皆様を招いて実施したい。
- ② ひばり保育園児との交流はコロナウィルスの影響により計画どおりには実施できなかった。また、ボランティア団体の慰問等もなかった。来年度は緩和し受け入れていきたい。
- ③ 安心サポート事業で相談を受けた2名の生活困窮者に対して支援を行った。引き続き他の社会福祉法人とも連携して、地域の生活困窮者支援に取り組んでいきたい。

6 職員の資質向上及び実習生受け入れ

- ① 集合研修が徐々に実施されるようになり多くの職員が参加した。来年度もリモート研修を活用しつつ、集合研修にも積極的に派遣していきたい。
- ② 今年度は医療的ケア研修へ1名派遣した。常勤の生活支援員の80%以上が取得している。生活支援全員が取得できるように引き続き支援していきたい。
- ③ 久慈東高校、仙台青葉学院短期大学及び仙台こども専門学校の実習生の受け入れを行った。来年度も福祉分野の人材育成のため積極的に受け入れていきたい。
- ④ 久慈広域の社会福祉法人と連携しての研修会は昨年に引き続き実施できなかった。来年度は実施に向け模索していきたい。
- ⑤ 久慈市の中学生を対象としたキャリア教育（合同講演会、職場体験）の受け入れを積極的に行った。引き続き働くことの意義ややりがいを伝えていきたい。

7 日常安全対策及び非常対策

- ① リスクマネジメント委員会が中心となり、事故防止の対策と毎月のチェック評価を行った。引き続き危険と思われることは早急に対策を立て、安全にサービス提供できるようにしていきたい。
- ② 防災計画に沿って、年2回の避難訓練を実施した。来年度も実際の災害の際にも

避難訓練の手順に沿って安全に避難誘導できるように引き続き訓練していきたい。

- ③ 全職員の普通救命講習を消防署にて実施した。来年度は新人職員を対象に実施できるように調整していきたい。

8 その他

- ① 広報「ひばり」を年3回（5月、9月、1月）発刊することができた。来年度も計画的に年3回発刊できるように努めていきたい。また、インスタグラムも週2回程度の頻度で更新をした。引き続きより多くの方々に知っていただくよう発信していきたい。
- ② 利用者との対話会を計3回開催した。来年度も引き続き開催し利用者の要望を取り入れていきたい。
- ③ 今年度は県内の障害者支援施設間（旧療護施設9カ所による）の派遣研修を実施した。受け入れは瑞雲荘から9月に職員2名、派遣については太陽荘へ10月に2名お願いし研修を行った。来年度も派遣できるよう調整していきたい。
- ④ 新型コロナウイルス5類移行に伴い、外出や外泊、面会の制限を緩和した。今後利用者のストレス軽減につながるよう緩和を続けていきたい。

9 利用者の状況

① 男女年齢別利用者状況

令和6年3月31日現在

	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
男	3	5	4	16	6	34
女	3	1	8	7	3	22
計	6	6	12	23	9	56

最低年齢22歳 最高年齢84歳（平均年齢58.5歳）

② 入退所状況（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	1	0	1	1	1	1	0	2	0	0	1	0	8
退所	0	0	1	2	0	0	2	0	0	1	0	0	6

③ 退所理由

	自宅療養	在宅復帰	入院治療	死亡	他施設異動	計
男	0	0	1	3	0	4
女	0	0	0	2	0	2
計	0	0	1	5	0	6

④ 障害の状況

障 害 名	男	女	計
脳血管障害	13	5	18
脳性麻痺	8	8	16
脊椎損傷	6	0	6
筋ジストロフィー	2	2	4
頭部外傷	1	1	2
その他	4	6	10
計	34	22	56

⑤ 障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	16	6	7	5	34
女	14	4	4	0	22
計	30	10	11	5	56

⑥ 出身市町村別利用者数

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
久慈市	27	一関市	2	田野畑村	2
洋野町	13	軽米町	1	九戸村	1
野田村	4	葛巻町	2		
普代村	2	岩泉町	2	計	56

⑦ 身体障害者手帳状況

	視覚障害		肢体不自由		計
	男	女	男	女	
1級	1	1	22	13	37
2級	0	0	3	7	10
3級	0	0	2	0	2
4級	0	0	2	0	2
計	1	1	29	20	51

身障手帳未所持5名（療育手帳3名、精神保健福祉手帳2名）

⑧ 排泄状況

	全介助	一部介助	自立	計
男	19	4	11	34
女	15	3	4	22
計	34	7	15	56

⑨ 移動状況

	介助用車椅子	電動車椅子	自走車椅子	自立歩行	計
男	7	7	17	3	34
女	11	1	10	0	22
計	18	8	27	3	56

⑩ 入浴状況

	特殊浴	普 通 浴			計
		全介助	一部介助	自立	
男	9	11	14	0	34
女	8	7	7	0	22
計	17	18	21	0	56

⑪ 食事介助状況

	全介助	一部介助	経管栄養	自立	計
男	5	8	3	18	34
女	6	4	2	10	22
計	11	12	5	28	56

⑫ 食事形態状況（主食）

ごはん（29名中）	人数	おかゆ（8名中）	人数	軟飯（13名中）	人数
特小盛	5名	特小盛	4名	特小盛	4名
小盛	10名	小盛	1名	小盛	6名
普通盛	12名	普通盛	3名	普通盛	2名
大盛	2名	大盛	0名	大盛	1名

（副食）

内 容	人数	内 容（特別食）	人数
普通形態食	30名	経管栄養食	5名
一口大カット	16名	カロリー制限	10名
きざみ食	7名	塩分制限	6名
きざみとろみ付	1名	透析食	2名
ペースト食	1名		

⑬ 行事食状況

家族との会食	2回	焼肉の日、クリスマス会
行事食	16回	花見会、端午の節句、七夕、土用の丑、お盆、敬老の日、お彼岸、秋の手作り弁当、冬至、クリスマス忘年会、大晦日、元旦、七草がゆ、お餅メニュー、節分、ひな祭り
焼肉の日	1回	6月
レストランの日	3回	6月、10月、3月
寿司の日	2回	5月、11月
誕生日お祝いメニュー	各1回	本人から希望を聞き取りし、誕生日当日の食事として提供した。

令和5年度ひばりショートステイ事業実施報告書

1 目的

在宅の障害者（主は身体障害者）を介護する家族が社会的理由（冠婚葬祭、入院等）または私的理由（休息、旅行、余暇等）により世話を出来ない場合に家族に代わって一時的に預かり介護を行い、地域生活の維持を支援することを目的とする。

2 利用定員

計4名（併設型1名、空床型3名）

3 利用地域

県内全域

（久慈広域につき送迎を実施）

4 利用実績

利用実人数・・・11名

利用延べ人数・・・346名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	46	43	31	27	27	13	27	38	27	18	24	346

- ① 実人員11名中9名がデイサービス利用者であり、慣れた環境のもと安心してショートステイへと繋ぐことができた。また、ショートステイ利用後に2名の方がひばり療護園へ入所となった。今後も療護園の機能を活かし包括的にサービス提供できるよう努めていきたい。
- ② 入院者等の空きベッドをうまく活用したため、ショートステイ利用者数は増加となった。来年度も空きベッドをうまく活用し、利用したい方がスムーズに利用できるように調整していきたい。

令和5年度ひばりデイサービスセンター事業実施報告書

1 生活相談

- ① 車椅子調整の相談や自宅で安全に生活できるよう家庭内の環境整備について関係機関と連携に努め、家族も安全・安心して介護が出来るよう支援した。
- ② レスパイトケア(家族の介護負担軽減)や、本人の健康管理を目的としたショートステイの利用など、関係機関と調整を図った。
- ③ ご自宅での介助についての質問が不定期にご家族より聞かれ、その都度助言等行った。

2 創作活動

- ① 毎月、季節を感じられる作品作りを行い、デイルームに掲示した。利用者一人一人ができる範囲で作製に参加し、完成後は写真撮影している利用者もいた。

3 スポーツ・レクリエーション活動

- ① 意欲的に卓球バレーの活動に参加される利用者が多く、卓球バレーがデイサービスを利用する目的となっている方もいる。外部の大会は新型コロナウイルス影響で中止になったり、参加を見合わせるなどして不出場だった。施設内に置いては、感染対策を講じながら行った。次年度は大会への参加を再開予定。
- ② 余暇はそれぞれ自由な時間を過ごす方も多いが、その中でもウノやオセロ、テレビゲームで対戦するなど、利用者間での交流も図られていた。また、入所利用者の方と対戦する様子もあり交流も図られていた。
- ③ カラオケを楽しみにしている利用者もあり、利用者同士仲良く歌っていた。選曲した番号の入力ができない利用者に代わって他利用者が手伝ってくれるなど、お互いに助け合いながら楽しんだ。
- ④ ボッチャ、ボーリング等の日中活動は、当日利用者の半数以上が参加されていた。実施回数を重ねるごとに上達していき、それぞれが工夫し、新たな技術を磨くなど楽しまれた。
- ⑤ デイサービス用のスマートフォンやタブレットで、動画やオセロゲームを楽しむ方もいた。また、映画の配信サービスを利用し、時間が空いた時には映画鑑賞を行った。
- ⑥ 土曜日の活動では、入浴が無いことからレクリエーション活動の時間を多く割くことができ、人生ゲームや映画鑑賞、調理活動など時間をかけた活動を展開することができ、参加された利用者の方々が楽しんでいた。

4 機能訓練

- ① 作業療法士指導のもと、起立台、自転車こぎ、歩行訓練、温熱療法、低周波治療を行った。
- ② 木製ペグで手指の訓練、視覚の訓練を意欲的に実施した。

5 健康チェック

- ① 来所時、入浴前にバイタル測定を行い、その数値によっては安全に入浴していただく事を考慮して入浴を控え、シャワー浴で対応させていただくこともあった。
- ② 今年度も新型コロナウイルス対策として、送迎前の検温・手指消毒、施設到着時の車椅子・送迎車の消毒、利用中・後のデイルーム内の消毒作業を行い感染症対策に努めた。
令和5年5月より新型コロナウイルスが第5類に移行されたことにより、濃厚接触者の定義がなくなったため、感染者との接触があった利用者の方には、事前に配布した検査キットをご使用いただいた。陰性を確認後デイサービスをご利用いただく対応を取り、接触による休みをなくすことと感染の拡大を防いだ。
- ③ 毎月体重測定を行い、増減を本人に伝え体調変化に留意して頂いた。
- ④ 糖尿病を罹患されている利用者の方がいらっしゃり、看護師対応にてインスリン対応などの血糖管理を行った。

6 社会適応訓練

- ① 外出する機会が無い方、また障害を受傷以降、以前のように外出できなくなった方々にとっては改めて社会と関わる貴重な機会となった。

7 入浴サービス

- ① 自宅で入浴困難な利用者の清潔保持の支援をすると共に家族の負担軽減に繋がる支援を行った。
- ② 特殊入浴機器を使用し、体幹保持が難しい利用者に快適に入浴していただけるよう支援した。
- ③ 利用者の残存機能を活用し、洗体、着脱の支援をした。
- ④ シャワーキャリー上で座位が不安定な方に対して、専用クッションを使用し、安全且つ快適に入浴して頂いた。
- ⑤ ささえ手(立位補助機器)や天井リフトを移乗介助の場面で活用し、利用者・職員相互の負担軽減に努めた。

8 給食サービス

- ① 利用者の嗜好に沿った食事を適温で提供できるように心がけた。機能低下の

見られる方、嚥下や咀嚼障害のある方についても栄養士と相談し刻み食やとろみをつけて随時様子を見ながら対応した。

- ② 新メニューを提供し、利用者に満足して頂けるよう努めた。
- ③ 誕生日メニューとして、利用日当日や前後の昼食で、利用者から希望のメニューを提供した。リクエストの中には、食べた事が無いから食べてみたいとの希望もあり、希望が叶ってうれしかった、との感想も聞かれた。また、厨房スタッフと記念撮影し皆さん笑顔が見られた。
- ④ 経管栄養食の方が2名おり、1名はご自分で行い、もう1名は看護師対応した。

9 送迎サービス

- ① 自宅とひばりデイサービス間において送迎対応した。7月に、夕方ご自宅に送迎中に車いす固定操作をしていなかったことによる転倒事故が見られた。車いすが後ろにひっくり返り頭部を打ったため通院対応し検査を行い異常は見られなかった。再発防止策として、車いす固定操作の順番をマニュアル化し、また、指差し呼称にて固定を確認することを運転手に業務命令した。その後、同様のケースは見られていない。

10 行事

- ① ひばり療護園行事(花見会、焼肉の日、夏祭り、クリスマス忘年会)は毎年、利用者・家族共に楽しみにしていただいている。今年度より新型コロナウイルスの5類移行に伴い、感染対策を緩和しご家族を毎回お呼びし行事を実施した。どの行事も参加された方々の楽しそうな様子がうかがえた。また、行事食に関して、ひばり厨房職員による特製弁当を毎回振舞ったが、とても好評だった。
- ② 外出行事に関しては、10月にイオン下田に日帰り旅行行事を実施した。以前よりイオン下田は人気の外出先で、多数ご参加いただき、お土産や昼食、買い物と楽しまれた様子だった。また、三陸復興道路を初めて通る方もいらっしやり交通の便の良さに驚かれていた。
- ③ 昨年度同様ティータイムを実施した。施設にあるテラスにてテーブル席を用意し、市内にあるケーキ屋さんからそれぞれが好きなケーキを注文し、飲み物各種と合わせて提供した。自然の空気を吸い、談笑しながら飲食された。

11 その他

- ① 2月27、28日は久慈市内において記録的な大雪に見舞われ、安全なデイサービス営業が困難と判断し臨時休業した。各ご自宅に電話連絡しご理解を得た。

実績

行事名	場所	参加人数
ホットケーキ作り	ひばり療護園内	4名
花見会	ひばり療護園内	14名
釣り堀	ファミリーランド	3名
焼肉の日	ひばり療護園内	14名
夏祭り	ひばり療護園内	11名
ティータイム	ひばり療護園内	23名
日帰り旅行	イオン下田	9名
紅葉ドライブ	久慈滝ダム	4名
たこ焼きづくり	ひばり療護園内	5名
クリスマス会	ひばり療護園内	16名

11 利用者状況

① 市町村別

市町村別	男	女	計
久慈市	7	13	20
洋野町	1	1	2
野田村	3	1	4
普代村	0	1	1
計	11	16	27

② 年齢別

	20未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上	計	平均年齢
男	0	0	2	2	1	6	11	55.3歳
女	0	1	2	3	5	5	16	52.5歳
計	0	1	4	5	6	11	27	53.9歳

③ 障害区分別(久慈市、洋野町、野田村、普代村)

生活介護

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	1	3	2	1	2	9
女	0	1	2	0	1	7	11
計	0	2	5	2	2	9	20

地域活動支援センター

	区分 1	区分 2	区分 3	計
男	0	1	1	2
女	0	2	3	5
計	0	3	4	7

④ 月間別利用状況

	稼働日	予定利用者数	利用者数	入浴	食事	送迎	平均利用者数	平均利用者数(※土曜除く)
4月	22	234	203	167	181	366	9.2	9.5
5月	25	252	197	174	181	361	7.9	8.3
6月	24	258	206	172	188	374	8.6	8.9
7月	24	253	204	173	187	368	8.5	9.0
8月	23	232	206	183	188	375	9.0	9.0
9月	23	222	189	168	171	340	8.2	8.6
10月	24	240	192	162	168	363	8.0	8.4
11月	24	236	212	189	193	381	8.8	9.2
12月	23	237	214	183	195	383	9.3	9.5
1月	22	217	203	182	186	380	9.2	9.6
2月	21	218	185	168	163	324	8.8	9.3
3月	23	220	203	184	188	340	8.8	9.3
計	278	2,819	2,414	2,105	2,189	4,355	8.69	9.05

⑤ 障害の状況

障害名	男	女	計
脳血管障害	7	5	12
脳腫瘍	1	2	3
脳性麻痺	2	4	6
筋ジストロフィー	0	2	2
ALS(筋萎縮性側索硬化症)	0	1	1
その他	1	2	3
計	11	16	27

令和5年度

ひばり障害者支援センター（相談支援機能強化事業）事業報告書

1 相談実績等 別添資料参照

2 重点方針

(1) ニーズの掘り起こし

障害当事者及びその家族等からの相談のほか、市町村福祉・保健担当課、医療機関等からの対応依頼、他相談支援事業所との連携などを通して、ニーズの発見・掘り起こしに努めた。相談等に対して、必要に応じ家庭訪問を実施し、生活全体の状況を把握することにより、総合的な支援を行えるよう努めた。また障害福祉制度ではなく介護保険制度の対象者も含まれており、介護保険制度の利用に繋げる等の対応を行った。

(2) 相談機能の充実・強化

相談等に対応するための手法として、障害者ケアマネジメントを活用することが効果的と考える。障害者ケアマネジメントの手法を意識し、ストレングスの視点を持つことを心がけた。このことは、総合相談窓口の機能の強化となるほか、相談支援における重要かつ基本となると考え実践に努めた。

(3) 久慈地域のネットワーク機能（連携・協働機能）の充実・強化

久慈地域自立支援協議会、他相談支援事業所、市町村、県（振興局含む）、社会福祉協議会、特別支援学校、医療機関等との日頃からの情報交換・共有、協議・検討等を通してネットワーク機能の充実・強化に努めた。

(4) 障害者総合支援法への対応

同法及び同法関連法等の情報収集に努め、必要に応じ利用者等への周知等に努めた。

3 事業の内容

(1) 相談窓口機能

総合的な相談窓口として広く周知・開放に努め、相談窓口としての機能の充実に努めた。他相談支援事業所や市町村担当課等の窓口と連携することにより相談支援につながり、結果、相談窓口を広く周知・開放することにもつながったと考える。

(2) 福祉サービスの利用の援助

障害者総合支援法におけるサービス（介護給付・市町村生活支援事業）の利用のための援助が中心となり、利用者本人の意向を確認し、本人の希望の実現のために関係機関等と連携・調整にできる限り努めた。

(3) 社会資源を活用するための支援

希望に沿う社会資源が不足しているなどの課題もあり、既存の社会資源の検証も含

め、障害者自立支援協議会を中心としてどう構築していくか、現場サイドからの声を反映させたいと考える。

(4)権利擁護のために必要な援助

日常生活自立支援事業利用者に対しての助言や、生活困窮者自立支援事業のあんしんサポート相談員として（施設の長の判断）経済的援助を行った。

久慈地域成年後見ネットワーク会議に定期的に参加し、成年後見制度の地域の現状や課題についての習得に努めた。

計画相談を担当している方が利用している病院から、成年後見制度の利用を勧められており、未だ利用に繋がっていないケースがある。久慈地域成年後見センターにも協力いただきながら、ご家族の理解促進を図っている。

(5)計画相談支援(令和5年度実績、障害児含み)

ア、サービス等利用計画の作成（サービス利用支援）

請求件数 66件(内訳は障害者 48件、障害児 18件)

※昨年度は、73件(内訳は障害者 59件、障害児 14件)

イ、モニタリング報告書の作成（継続サービス利用支援）

請求件数 合計 210件。(内訳は障害者 176件、障害児 34件)

※昨年度は、177件。(内訳は障害者 141件、障害児 36件)

令和5年度は11件(令和4年度は9件)の新規計画相談支援を行った。そのうち、児童は6件(令和4年度は1件)だった。また、担当ケースが終了したのは8件で、そのうち6名がご逝去、2名は介護保険へ移行した。

(6)困難ケースへの対応

計画相談を担当している利用者に健康問題が生じ、いち早く盛岡の病院に受診する必要があったが、年金受給前で所持金が無く、あんしんサポート事業を利用したの支援を検討した。病院受診し検査と服薬にて症状は回復したが、支援の過程で利用者から得ていた情報が異なることが多く、今後の支援検討にも支障をきたすため話し合いを持った。結果的に利用者からの不信となり、他事業所の相談支援専門員へ計画相談の引継ぎを依頼した。

放課後等デイサービスを利用している児童が、事業所では落ち着いて過ごしているが、自宅と学校では対応に苦慮しているケースがある。事業所利用を拒否する言動があり、本人の真意は不明だが、事業所利用を拒否するのであれば無理に利用しないことも選択肢としたところ、下校後は自宅で過ごしている。自宅や学校での対応困難については、発達障がい支援センターウィズの地域訪問支援事業に相談し、久慈での巡回相談に2ヶ月ごとに参加し、本人の困り感を家族、学校や事業所と共有の機会を図った。現在は放課後等デイサービスの利用は終了としてが、今後も巡回相談には参加を続ける予定である。

(7)相談支援事業者等への指導・助言

情報提供・交換を行うことにより、認識の共有化が図られた。他事業所へ具体的な指導、助言はしていないが、連携・協働化のためにも今後充実させたい。

(8)地域啓発活動

日頃の相談支援の活動等を通して啓発を行うよう努めた。

4 今後の課題・展望等

これまで計画相談を担当していた方が状態回復したことで職場復帰することになり、計画相談が終了となった。また、同じようなケースの方で、一般相談で関わっていた方が職場復帰を調整している方がいる。計画相談での関わりは終えるが、今後の相談窓口として気軽に相談いただけるよう一般相談として関わりを続けていく。

今年度新規計画担当 11 件のうち 6 件が児童だった。今後も児童の相談は増加が見込まれており、より専門性を磨く必要があるとともに、就学や学校を卒業してからの継続的な支援も必要となるので、本人だけでなく家族も含めてライフステージごとの支援を検討していく。

今年度はひばりデイサービスセンターを利用していた利用者で、短期入所の利用を増やしながら施設入所したケースが 2 件あった。いずれも可能であればまだ在宅生活を希望していた方ではあるが、家族の健康上の理由から入所を決めている。どちらの方も短期入所利用を経ての入所であったことも一因と思われるが、ある程度施設での生活をイメージした状態で入所出来たかと思われる。そのため、自事業所の計画相談担当利用者以外でも、その方の将来の生活を見据える目的で短期入所利用希望があった場合は調整を図りたい。

今年度も法人の地域貢献の一環として福祉教育出前講座にも参加した。生徒が福祉を体験できる場となるだけでなく、参加職員も普段の業務とは異なる福祉活動を経験できる貴重な機会ともなるため、4 名の生活支援員にも協力を仰いだ。その場での体験だけでなく、地域との関わりも感じる機会となるため、特定の職員だけでなく幅広く職員に機会が提供されるよう協力を仰いでいく。

あんしんサポート事業は以前は年間でもそれなりの件数の依頼があったが、参加法人が増加したこともあってか、今年度は 2 件のみの対応だった。そのうち 1 件は子ども夢基金での対応だった。今後も法人の地域貢献の一環として支援を行っていく。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障 害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	115	100	3	6	7	0	1	0
障害児	23	2	1	7	0	13	0	0
計	138	102	4	13	7	13	1	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	119	49	26	172	7	13	676	128	1,190

(支援内容)

	福祉サービスの 利用等に関する支援 (1)	障害や病状の 理解に関する支援 (2)	健康・医療に 関する支援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関する支援 (4)	保育・教育に 関する支援 (5)	家族関係・人 間関係に関する支援 (6)	家計・経済に 関する支援 (7)	生活技術に 関する支援 (8)	就労に関する 支援 (9)
件数	830	41	118	29	0	15	58	84	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る支援 (10)	権利擁護に 関する支援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	2	8	5	1,190
(再掲) ピアカウンセ ラー				

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	1	15	4	0	3	0	23

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等に 対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件 数	2	0	2

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	74	63	3	3	5	0	1	0
障害児	18	2	0	5	0	11	0	0
計	92	65	3	8	5	11	1	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	106	37	24	142	7	12	502	79	909

	福祉サー ビスの利 用等に 関する 支援 (1)	障害や病 状の理 解に関 する支 援 (2)	健康・医 療に関 する支 援 (3)	不 安 の 解 消・情 緒 安 定に関 する支 援 (4)	保 育・教 育に 関する 支援 (5)	家 族 関 係・ 人 間 関 係 に関 する支 援 (6)	家 計・経 済 に 関する 支援 (7)	生活技術 に関 する支 援 (8)	就 労 に 関 する支 援 (9)
件数	636	22	97	20	0	14	40	70	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・ 余暇活動 に関 する支 援 (10)	権利擁護 に関 する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	7	3	909
(再掲) ピアカウンセ ラー				0

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	2	13	5	1	11	0	32

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に (2)	計 (3)
件 数	2	0	2

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)
 ※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。
 ※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。
 ※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚に
 まとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身障 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	12	12	0	0	0	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	12	0	0	0	0	0	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	0	2	1	0	0	0	32	18	53

	福祉サー ビスの利 用等に 関する 支援 (1)	障害や病 状の理 解に関 する支 援 (2)	健康・医 療に関 する支 援 (3)	不 安 の 解 消 ・ 情 緒 安 定に関 する支 援 (4)	保 育 ・ 教 育 に関 する支 援 (5)	家 族 関 係・人 間関係 に関 する支 援 (6)	家 計 ・ 経 済 に関 する支 援 (7)	生活技 術に関 する支 援 (8)	就 労 に関 する支 援 (9)
件数	32	3	5	4	0	0	4	4	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・ 余暇活動 に関 する支 援 (10)	権利擁護 に関 する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	1	53
(再掲) ピアカウンセ ラー				0

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	0	13	5	0	0	0	18

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に (2)	計 (3)
件 数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	19	15	0	3	1	0	0	0
障害児	4	0	0	2	0	2	0	0
計	23	15	0	5	1	2	0	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	9	5	1	19	0	1	103	14	152

(支援内容)

	福祉サー ビスの利用等 に関する支 援 (1)	障害や病状 の理解に関 する支 援 (2)	健康・医療 に 関する支 援 (3)	不 安 の 解 消・情緒安 定に関する 支 援 (4)	保育・教育 に 関する支 援 (5)	家族関係・ 人間関係に 関する支 援 (6)	家計・経済 に 関する支 援 (7)	生活技術に 関する支 援 (8)	就 労 に 関 する 支 援 (9)
件数	106	14	11	3	0	0	12	3	0
(再掲) ピアカウ ンセラー									

	社会参加・ 余暇活動に 関する支 援 (10)	権利擁護に 関する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	2	1	0	152
(再掲) ピアカウ ンセラー				0

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会 議 (4)	ケア会 議 (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	2	13	5	0	1	0	21

(機能強化事業)

	困難ケース等へ の対応 (1)	相談支援事業者 等に対する指導・ 助言等 (2)	計 (3)
件 数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の (2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	8	8	0	0	1	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	8	0	0	1	0	0	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	1	5	0	9	0	0	33	12	60

(支援内容)

	福祉サービス の利用等に関 する支 援 (1)	障害や病状の 理解に関す る支 援 (2)	健康・医療に 関する支 援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関 する支 援 (4)	保育・教育に 関する支 援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る支 援 (6)	家計・経済に 関する支 援 (7)	生活技術に 関する支 援 (8)	就労に関する 支 援 (9)
件数	43	1	4	1	0	1	2	7	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る支 援 (10)	権利擁護に 関する支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	1	60
(再掲) ピアカウンセ ラー				0

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	2	13	5	0	0	0	20

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件 数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別に作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人員 (1)	身体障害 (2)	重症心身 障害 (3)	知的障害 (4)	精神障害 (5)	発達障害 (6)	高次脳 機能障害 (7)	その他 (8)
障害者	2	2	0	0	0	0	0	0
障害児	1	0	1	0	0	0	0	0
計	3	2	1	0	0	0	0	0

(支援方法)

	訪 問 (1)	来所相談 (2)	同 行 (3)	電話相談 (4)	電 子 メール (5)	個別支援 会 (6)	関係機関 (7)	その他 (8)	計 (9)
件 数	3	0	0	2	0	0	6	5	16

(支援内容)

	福祉サービス の利用等に関 する 支 援 (1)	障害や病状の 理解に関する 支 援 (2)	健康・医療に 関する 支 援 (3)	不安の解消・ 情緒安定に関 する 支 援 (4)	保育・教育に 関する 支 援 (5)	家族関係・人 間関係に関す る 支 援 (6)	家計・経済に 関する 支 援 (7)	生活技術に 関する 支 援 (8)	就労に関する 支 援 (9)
件数	13	1	1	1	0	0	0	0	0
(再掲) ピアカウンセ ラー									

	社会参加・余 暇活動に関す る 支 援 (10)	権利擁護に 関する 支 援 (11)	そ の 他 (12)	計 (13)
件数	0	0	0	16
(再掲) ピアカウンセ ラー				

(その他)

	巡回相談 出 席 (1)	関係機関 会議出席 (2)	研修会等 出 席 (3)	ケア会議 (Ⅰ) (4)	ケア会議 (Ⅱ) (5)	専門機関 への紹介 (6)	計 (7)
件 数	1	13	5	0	0	0	19

(機能強化事業)

	困難ケース等 への対応 (1)	相談支援事業者等 に対する指導・助言等 (2)	計 (3)
件 数	0	0	0

※相談支援を利用している障害者等の人数は、(1)≦各表側の(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)+(8)

※関係機関、関係者には他の相談支援専門員を含む。

※ケア会議の(Ⅰ)は当該相談に伴うケア会議、(Ⅱ)はその他のケア会議とする。

※久慈圏域分については、当事者の居住地により市町村別により作成し、圏域以外については、1枚にまとめる。

令和5年度ひばり保育園事業実施報告

【保育理念】

生き生きとした明るい子どもに育つ願いを込めて

【保育目標】

- (1)健康な身体の子ども
- (2)よく考えて行動できる子ども
- (3)豊かな心をもった子ども
- (4)思いやりのある子ども

【保育計画】

3歳未満児

落ち着いた環境の中で、ひとりひとり、暖かいふれあいを大切に、生活や遊びを楽しみながら、たくましい生命力、健やかな身体と心を育てて、自立習慣の基礎を養う。

3歳以上児

十分の養護の行き届いた環境のもとで、健康安全に必要な習慣や態度を養い、人との関わりの中で、人に対する愛情、信頼感を育てると共に自主・自立・強調の態度を養う。

【安全指導】

年間の安全指導目標に添って、月1回安全指導を行う。又日々の保育の中で、必要に応じて安全指導を行う。

【避難訓練】

月1回火災、震災、その他不慮の災害予防及びこれらの災害時おける園児、職員の安全を図る。

【健康管理】

定期的な健康診断と毎月身長、体重を測定し、成長の実態を把握し家庭との連携を図る。

【給食】

月1回の誕生会、年3回の行事食を盛り込み、みんなで楽しく食事をし、食事の大切さを知り、正しい食事習慣とマナーを身につける。

【園児の在籍状況】

令和6年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひよこ	3	3	3	3	5	6	6	6	7	7	7	9	65
あひる	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	57
はと	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	89
うぐいす	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	45
かなりや	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
ひばり	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	45	45	45	45	47	48	48	49	50	48	48	50	568

【職員構成】

※()は非常勤

園長	主任保育士	副主任保育士	保育士	調理師	保育補助		計
1	1	1	8	3	5		19
				(1)	(1)		(2)

久慈市門前 37-56-26 ちだ医院の千田修医師を嘱託医とする。

久慈市八日町 1-37 宮澤歯科医院の小柳亜沙子医師を嘱託医とする。

【特別事業】

乳児保育事業

延長保育事業

リトミック月1回

民間保育所地域活動事業

一時保育事業

FunFunE Time月1回

障害児保育事業

ステップキッズ月1回